

なんば広場 幹事会議事メモ

日時： 2025年2月7日(金)13:00～15:15

場所： 準備委員会事務所(河原センタービル)

参加： 戎橋筋商店街 菊地氏、青木氏、山本氏
なんさん通り商店会 木村氏、丹野氏(途中退出)、木本氏、菊澤氏
高島屋 井原氏、藤原氏
マルイ 田中氏
南海電鉄 寺田氏(WEB)、平木氏、入江氏、大前氏、廣田氏、稲元(記)
HBP 泉氏、岸本氏
大阪市建設局 入谷氏、三井氏(交通規制議題終了後退席)

1. 今週の論点

(1) 【情報共有】交通規制開始について ※大阪市建設局より説明

●交通規制導入のお知らせについて

(三井氏より資料を説明)

- ・配布資料の通り警察と協議を進めている。
- ・交通規制開始時期は調整中だが、今年度中を目指している。
- ・規制開始後は、警察への許可申請が必要となる。
- ・規制内容や荷捌きスペースについてはこれまでと同様の運用を予定している。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・資料はどこに配る予定なのか。(藤原氏)
→地域やトラック業界へ配布し、大阪市HPにて公開する予定である。(三井氏)
- ・申請の受付はいつからか。いつから申請可能か明確に示してほしい。(藤原氏)
→警察に確認後、申請受付開始時期も合わせてお伝えをする。(三井氏)
- ・自転車の乗り入れ禁止についてもなるべく早く周知をしていきたい。(木村氏)
→規制日2週間前くらいには警察から情報を共有してもらおうよう努める。(三井氏)
- ・地域住民の車両通行について、突発的な事象(急病、緊急時など)への対応策はあるのか。許可証があっても、緊急時にすぐ対応できるか。(木本氏)
→乗用車については、許可書を申請してもらう必要がある。しかし、居住者は許可申請により、最長1年間の通行許可を取得可能となる方向で進めていければと考えている。
許可証があれば突発的な場合でも通行できる。(三井氏)
→居住者が簡単に申請できるよう、情報を明確化してほしい。(木本氏)
→警察に確認のうえ、申請方法をまとめてご案内をさせていただく。(三井氏)

●交通規制導入による HP 変更について

(平木氏より資料の通り説明)

- ・現行の「工事中の交通運用」ページを「3月X日からの交通規制」に変更する。
- ・ページ内の地図を更新し、通行許可区間の一例を示す。
- ・主な変更点は3つ。通行許可が必要な車両は主に乗用車となること/自転車は広場、なんさん南北通り、精華通りで走行禁止となること/許可申請は南警察署に行く必要があることが挙げられる。
- ・今回説明した変更内容については、大阪市建設局とは未調整の案のため、今後すり合わせた後改めて報告させていただく。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・なんさん通りにて北行き、南行きの矢印両方つけた方が良いのではないかと。(井原氏・藤原氏)
- 矢印を追加し、修正する。(平木氏)

●2025年度以降のなんさん通り警備について

(入江氏より説明)

- ・南海電鉄のスカイオの建設に伴う公共貢献として負担する空間再編推進事業の一部費用を転用し、転用額を限度として2025年度以降の警備は南海電鉄から発注することとなった。警備費が転用額を上回った場合は、大阪市内で財源を確保してもらう。
- ・本格運用時にはほこみち事業者で警備費を負担するとされているため、大阪市内に前面に立って警察との協議を進めてもらい、警備体制の見直しを行い、警備費削減を図る。
- ・見積合わせのうえ業者を決定するので、決定したらお伝えする。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・広場の警備についてはどうなるのか。(青木氏)
- 広場警備となんさん南北通りの警備をあわせて当社から発注する。(入江氏)

(2)【意見交換】事業完成セレモニーについて

(入江・廣田氏より資料の通り説明)

- ・そら植物園から企画を提案してもらった。内容は、日本らしく、メディアからの注目を考え、桜の設置を検討している。
- ・式典全体の予算としては最大2600万円(税込み)で、西畠氏企画には1000万円程度かと考えている。
- ・前々回の幹事会にて、残予算の使用用途を議論したが、使用用途を式典費用に変更することもできるのではないかと考えている。残予算の用途について、再度ご意見いただきたい。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・ 延長期間時の利益も、延長期間完了時に収支を均衡にする必要があるため、その予算で机椅子を購入したらどうか。(木村氏)
- ・ 桜の企画だけでなく、完成式典として他の企画もきちんとしたものが実施できるのであれば、桜の企画に費用をかけても良いと考える。(菊地氏)
→現状他の詳細について決まっていないが、催事当日に静止画・動画を記録できるようにカメラマンを配置するべく調整は進めている。また、南海電鉄として寄付ではなく、コンテンツの提供という形で協賛し、より良い式典を開催できるよう協力できればと考えている。(入江氏)
- ・ 桜の企画に充てられる金額は1,200万円のため、今回の提案のもらった3,000万円のイメージ資料では、イメージと異なるものとなる。改めてイメージ資料は提案が欲しい。(井原氏)
→予算を減らす場合は、中央にシンボリックな大きな桜とステージ周りの設置で提案してもらおうかと考える。時間が限られているため、具体のイメージ資料等については、メールでのご相談とさせていただきます。(入江氏)
- ・ なんば広場の認知向上のため、宣材写真やプロモーション動画、また素材をどのように拡散するのかについても検討する必要がある。(山本氏)
→予算と調整をしながら、プロモーション費用についても検討していく。(入江氏)
- ・ まだイメージがつかないため資料をもとに再度説明がほしい。せっかくの行事のため、金額を懸念してクオリティが下がらないようお願いしたい。(木本氏)
- ・ 夜の仕掛けについては何か考えているか。(井原氏)
→なんば広場の特性上、明るいため催事のためにライトを設置しなくて良いのではないかと考えている。(入江氏)
→西畠さんに聞いてみたり、提案していただきたい。(井原氏)

(結論)

⇒残予算約2,600万円をセレモニーに充当する。

⇒企画の進捗に応じて、こまめにメール等で報告する。

(3)【意見交換】名称決定の実施方針(案)について

(入江氏より資料の通り説明)

- ・ 3月22日(土)の完成記念式典までに、公募を完了させ、発表をすることはスケジュール的に難しい。
- ・ 完成記念式典時から名称を募集し、メディア露出効果も活用して多くの人に応募してもらうのはどうかと考えている。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・公募をしたら、その中の名称から選定する必要があるのか。(木村氏)
- 1番人気の名称を選定するかはルール次第だが、応募のあった名称の中から選定する必要はあると考える。(入江氏)

(結論)

⇒完成記念式典時に名称を募集する。

⇒公募方針は、今後の幹事会にて議論する。

(4)【意見交換】社会実験協定の変更(案)について

(入江氏より資料の通り説明)

- ・社会実験②の期間で開催するイベントについては、着手金として先に主催者から受領する維持管理協力金の1割を手付金としてはどうかと考えている。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・5割など、もう少し割合を高くした方がいいのではないかと。(木村氏)
- 手付金は、社会実験①期間中に使い切らなければならない。もし準備委員会が社会実験②のほこみち事業者に選ばれた場合、手付金の割合が少ない方が、社会実験②に使えるお金が増えるため、手付金の割合は高く設定しなくて良いのではないかと考える。(入江氏)

(結論)

⇒社会実験②の期間に実施するイベントの手付金は1割とする。

(5)【意見交換】イベント受入ルール(案)について

(入江氏より資料の通り説明)

●イベント受け入れルール

- ・事務局での判断は行わず、資料の通りの手順でイベントを受け入れる。イベント実施後は幹事会内で振り返りを行い、より良い運営方法を探る。
- ・警察や行政の定める規定上受け入れができない問い合わせについては、事務局の方でお断りの連絡をさせていただく。

●イベント受け入れ減免規定

- ・前回幹事会にて、減免規定ルールについて議論した結果、地域環境保全活動に繋がる取組と社会実験の検証に協力する取組を一つにするという話だったが、もう一度議論させていただきたい。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・スライド1枚目、広場で実施可能な企画として提示している5つは、“広場で実施するのに望ましい企画”という意味合いではないか。(井原氏)

→仰る通りである。(入江氏)

・2つに分けたままの方が運用をしやすいのであれば、このままの分類で良いのではないか。

(菊地氏)

(結論)

⇒協定期間延長後の地域環境保全活動に繋がる取組と社会実験の検証に協力する取組は分けて設定し、最大9割減免とする。

(6) その他

●なんば旅先クイズ

(山本氏より資料の通り説明)

- ・外国人観光客に向けてクイズに参加をしてもらい、なんばの魅力や文化を伝える催事を4月12日、13日で予定している。
- ・テントの設置場所については未確定だが、小規模のブースを予定している。
- ・TOPPAN 株式会社にも協力いただき、翻訳ツールを提供してもらう予定である。

(上記内容を踏まえて質疑応答・ご意見)

- ・減免規定に照らし合わせると、地域環境保全活動に繋がる取組で最大9割減免となる。

(廣田氏)

・先ほど審議いただいた社会実験協定の変更覚書を締結すれば、準備委員会の自主事業ができるようになる。本催事の主催として準備委員会も参画できる場合は、最大10割減免とすることもできる。(入江氏)

(結論)

⇒協定期間延長後の地域環境保全活動に繋がる取組とし、9割減免とする。

●献血について

⇒3月2日(日)、8(土)、9(日)、20(木・祝)、29(土)で実施。

●自転車押し歩き日について

⇒21日の幹事会后とする。

2. 広場のイベント予定

- ・2/15(土)・16(日)：サウジアラビア文化イベント／主催：サウジアラビア王国文化省
 - ・2/20(木)：まちなかミュージック／主催：ミナミまち育てネットワーク
 - ・3/1(土)：消防局イベント／主催：大阪市消防局
 - ・3/8(土)・9(日)：おむす美イベント／主催：一般社団法人大阪活性化事業実行委員会
- 来週協議予定。
- ・3/22(土)・23(日)：事業完成式典

- ・25日(火)：隈研吾トークショー／主催：南海電鉄
 - ・26日(水)：主催者：大阪商工会議所 内容：大阪の技術力PRを目的としたスタートアップ企業の展示
- 5割減免として実施する。

3. 今後の日程

- ・2/21(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・3/7(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・3/14(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル) ※仮
- ・3/21(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル)
- ・3/28(金) 13:00～15:00 幹事会 @準備委員会事務所(河原センタービル) ※仮

以上